

(5) さかんになった花づくり

① 花をつくる

岡山県で本格的に花がつくられはじめたのは、昭和26年ごろです。笠岡市の真鍋島で小菊の栽培をしたのがはじまりであるといわれています。



バラ



ラクスペア

笠岡市のバラ，ラクスペアをはじめ，岡山市の洋ラン，菊，新見市や鏡野町・新庄村のリンドウ，真庭市のソリダゴ，倉敷市船穂町のスイートピーなどが有名です。

花は，これからも消費量がのびると予想される作物です。新しく花づくりをはじめ若い人たちもふえています。岡山県では，「四季咲き誇る・おかやまの花プラン」という計画を立て，菊，スイートピー，バラ，ユリ，トルコギキョウなどの産地づくりをすすめています。最近では，家庭で花を植えて楽しむ人がふえてきたことから，パンジー，ペチュニアなど花だん苗の生産も増加してきました。



ソリダゴ



キク



リンドウ

ユリ

スイートピー

パンジー

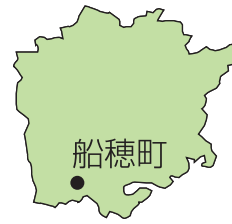
トルコギキョウ

② スイートピーをつくる農家の暮らし

まゆみさんたちは、12月、JA岡山山西の人の案内で倉敷市船穂町の浅野さんの家の花づくりの見学に行きました。浅野さんの畑は、山をのぼった斜面にあり、まわりには、ぶどう畑が広がっていました。

そこには、長さが30メートルもある鉄骨のビニールハウスがありました。なかには、みごとなスイートピーの花が、たくさんさいていました。

浅野さんは、最初はマスカットを栽培していましたが、昭和37年からスイートピーづくりに取り組みはじめました。最初2～3年は、うまくいかなかったそうですが、その後、栽培方法を工夫したので、品質のよい花が出荷できるようになりました。



スイートピーの収かく

花づくりのようす

倉敷市船穂町は、倉敷市の北西にあります。スイートピーづくりは、昭和30年代の中ごろからはじまりました。現在では、19戸の農家でつくっており、生産量は県内の約8割をしめています。

スイートピーづくりは、温暖で日あたりがよいことが大切です。特に倉敷市船穂町は、南向きの山の斜面が多く、日あたりがよいことからスイートピーづくりに適しています。また、船穂町は傾斜地が多いので水はけがよく、スイートピーづくりにつごうがよいのです。

浅野さんの話

スイートピーづくりには土づくりがとても大切です。8月には、土の消毒をします。また、20年以上もつくと土がだめになってしまうので、^{きかい}機械で深くほりおこします。

種をまいてからは、水と肥料のやり方が一番むずかしいです。土の質によって水と肥料の量がちがってくるからです。

水やりは、山の上に水をため、パイプでビニールハウスまでひいています。スイートピーは、水のやりすぎはよくないので、水のやり方には、特に気をつかいます。

作業の中で最も時間がかかるのは、「つるさげ」で、のびたつるを折り返して下でまいていきます。この作業はとても時間がかかるので、4~5人の人に手伝ってもらっています。

スイートピーの種は、自分の家でさいたものの中からよいものを選んでおきます。花の色は15種類ぐらいあります。

倉敷市船穂町は、全国的に有名なスイートピーの産地です。今では、他県でもさかんに栽培されるようになってきました。わたしたちは、よいもの、消費者の好みにあったものをつくらうと努力しています。

花の収かく

花の収かくは、10月の終わりから4月まで続きますが、市場の値段に注意しながら計画的に出荷していきます。浅野さんの家では、たくさんハウスのあるので収かくのときは、何人もの人をたのんで



岡山市の花市場

作業をするそうです。

倉敷市船穂町では、出荷できる期間を長くするために、スイートピーのたねを冷蔵することによって、花を早く咲かせる工夫もしています。

花は、JAを通して東京を中心に、全国の市場へ出荷されます。最近では、飛行機で送られることが多くなっています。市場では、せりをしてほしい花を買つけます。

浅野さんの家の作業ごよみ

月	スイートピーごよみ	
1	たんぼ 暖房	出荷
2		
3		
4		
5		
6		
7		種の冷蔵 種まき
8		
9		出荷
10		
11		つるさげ
12	暖房	

③ 新しい花づくり

県北の標高500メートル以上のところにある新庄村では、夏場のすずしい気候を生かして、リンドウの栽培をしています。

昭和40年代後半から食生活の変化により米があまりはじめました。そのため「生産調整」として、水田を利用したリンドウの栽培に取り組んだのがはじまりです。

夏のすずしい気候を好み、寒さにも強いリンドウは、新庄村の土地に適しています。5月頃から苗を植え、露地で育てます。7月から収かく・出荷していきます。寒くなってくる10月まで収かくは続けられます。

新見市や真庭市などでもリンドウが栽培されています。これまで岡山県では、県北の花としてリンドウの栽培を進めてきました。今後は、リンドウの安定した生産と長期出荷をしていく必要があります。そのために、JAが苗を育てて産地に供給したり、他の産地とはちがう独自の品種づくりに力を入れたりしています。